

初級テキスト「ハイキングABC」



全国登山は、中高年層が安全に楽しく山を歩けるよう、これだけは知って欲しいハイキングの基礎知識を小冊子に纏めました。内容は、バテずに楽しく歩くために、山での歩き方と行動、ハイキングの服装と準備、地図についてのQ & A、誰でも出来るトレーニングなどで構成されております。B5判58ページ。1部300円(加盟団体が30部以上注文の場合1部250円)

「ハイキングセカンドステップ」

は、ハイキングのリーダー養成をすぐ実践できるように、リーダーの役割と心得、リーダーのための地図の読み方などが纏められております。会員教育のステップアップにご活用ください。B5判80ページ、1部400円。

申込先：日本勤労者山岳連盟事務局

電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24



県連のスケジュール

7月		8月		9月	
1 土	リーダー学校机上	1 火	救助隊会議	1 金	
2 日	救助隊トレーニング リーダー学校補講	2 水	常任理事会	2 土	
3 月	常任理事会	3 木		3 日	救助隊トレーニング(無雪期)
4 火	救助隊会議	4 金		4 月	常任理事会
5 水		5 土		5 火	救助隊会議
6 木	ハイキング机上	6 日		6 水	
7 金		7 月		7 木	
8 土		8 火		8 金	
9 日		9 水		9 土	
10 月	遭対部会	10 木	遭対部会	10 日	理事会
11 火	事務局長会議	11 金	事務局長会議	11 月	遭対部会
12 水		12 土		12 火	事務局長会議
13 木		13 日		13 水	
14 金		14 月	事務局部会	14 木	ハイキング机上
15 土		15 火		15 金	
16 日		16 水		16 土	遭対部講習会 登山の基礎(机上)
17 月		17 木		17 日	遭対部講習会 登山の基礎(実技)
18 火	事務局部会	18 金		18 月	
19 水		19 土		19 火	リーダー学校 机上
20 木		20 日	ハイキング実技	20 水	事務局部会
21 金		21 月		21 木	
22 土	リーダー学校 机上	22 火	リーダー学校 机上	22 金	
23 日	リーダー学校 実技	23 水		23 土	リーダー学校 実技
24 月		24 木		24 日	リーダー学校 実技
25 火		25 金		25 月	自然保護委員会
26 水		26 土	リーダー学校 実技	26 火	
27 木		27 日	リーダー学校 実技	27 水	
28 金		28 月	自然保護委員会	28 木	
29 土		29 火		29 金	
30 日		30 水	ハイキング懇談会	30 土	ハイキング実技
31 月	自然保護委員会	31 木			

連盟ニュース

258

神奈川

7

2006.7.11



読図講習会実技

みんなが目標を持って満足される登山を実践しましょう！

2006年度・夏山行の注意点	理事長 後藤真一	2
ハイキング懇談会のお知らせ	遭難対策部	3
遭対部の夏山山行把握にご協力ください	遭難対策部	4
遭対部講習会の参加費値上げにご理解ください	遭難対策部	4
遭対部『道迷いを防ぐ講習会』報告	遭難対策部	5
川崎ハイキングの活動報告		6
第27期全国女性担当者会議の報告		6
講習会予告「登山の基礎」のご案内	遭難対策部	7
常任理事会報告/事務局長会議報告/自然保護委員会報告		8
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		10
冊子紹介・県連のスケジュール		12



神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
発行責任者 後藤 真一 編集責任者 村松 勝
TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

みんなが目標を持って満足される登山を実践しましょう！

(夏山本番に向けて)

いよいよ夏山本番。連盟各会会員の皆様も「今年はどこに行こうか」と心躍らせて計画に入っていると思います。

さて、今年は皆様既知の通り、例年よりかなり多くの残雪があります。北アルプスなどでも、特に谷筋を中心に、例年より2週間程度融雪が遅く、いまだ残雪に隠れた多くの登山道があるとのこと。部分的にはこのような状態がお盆時期も続くと思われ、そのような状況では、登山道を見失い危険地帯に入っただけで転落滑落、不安定な浮き石による踏み外しや落石、雪崩壊、そして雪上歩行技術や装備の不備による雪上での滑落などの危険性が出てくるでしょう。

このような状況については、必ず地元の公的機関や山小屋などに事前確認して、もし厳しそうな条件であるならば、ご自身またはメンバーの知識、技量、経験とよく比較して、入山するのか、グレードを下げるのか、中止するのかの判断を、リーダーのみならず、メンバー全員がそれぞれ自分でできる限りの判断をして下さい。決してリーダー任せにしないで下さい。

ハイキングにせよ、難易度の高い登山にせよ、登山は「自己責任(OWNRISK)」の世界ですから。また、最近旧知のガイドさんと食事をしていて、その話の中で気になったことがありました。

「(山岳雑誌を見て)西穂縦走路に連れて行ってほしい」というお客さんがいたので、「それでは三点支持やもしもの時のために簡単なロープワークのトレーニングをしましょう」とアドバイスすると、「そんな危険なことはしたくない」とおっしゃるらしいのです。それで実際本番に連れて行くと「こんなに厳しいとは思わなかった。もう懲り懲り・・・」。そんなお客さんが増えているのだそうです。

最近はインターネットを始め、書籍などの媒体など山の素晴らしさを伝える情報がたくさんあり、大変貴重している反面、「良い所」だけに注目しがちで、そのコースが果たして今の自分に適当なのか、また不足しているならばどんな事前トレーニングをどこまでしなくてはいけないのかが、認識されていない方がとても多いのかな、と危惧しております。まだガイド山行ならばいざ知らず、もしこのような認識不足の方だけのパーティあるいは単独登山者だ

けで「憧れのルート」に入山してしまったならば、事故の確率は何十倍にも広がるのは自明の理です。定年後の登山者やハイカーさんたちに話を伺うと、「あと何年も歩けるかわからないから自分には悠長にトレーニングに掛ける時間がないのです」との答えも帰ってきます。しかし残念ながら登山は「人の手では太刀打ちできない自然界の中で行われる相当量の持久力を必要とするスポーツ」であることはいつになっても変わることはありません。

どうぞご自身にあった計画を立てると同時に無理をせず少しずつレベルアップを図って下さい。それに定年後になってから登山やクライミングを始めて、トレーニングをどんどん積んで、その目標のために日常生活の食事から運動まで管理し、目を見張るようにレベルを上げている方も多くいらっしゃいます。結果だけに囚われず、どうぞプロセスを重要視して頑張ってください。

県連はそのような方をサポートすべく、遭対部や教育部、ハイキング委員会を中心にした各種講習会を企画・開催したり、また今年独立した救助隊メンバーがいざという時のために体制強化を図っております。是非そのような機会を利用したり、こういうものが欲しいなという屈託のないご意見をお寄せ下さい。

追伸

県連合同計画書の提出などがありましたら、しばらくの間以下にお願いします。(事務所に送られると対応がどうしても遅れがちになりますので)

計画書提出先
〒221-0046 横浜市神奈川区神奈川本町14-5
コットンハウスB402
F A X 045-451-0507
または e-mail CZT01137@nifty.ne.jp
T E L 090-1663-8890
(上記FAX番号には留守電しないで下さい)
なお都合により下山連絡を受けられない場合は都度他の常任理事に変更させていただきます。

理事長 後藤真一

相模勤労者山岳会 報告 藤田耕市 計38名(男26:女12)			
5/26 シダンゴ山~高松山(3)	6/30-6/5 仙丈岳~蝙蝠岳/笹ヶ岳(1)	6/10 ヤビツ峠~三ノ塔岳(県連読図下見)(2)	6/24-25 ヌク沢
5/28 塔ノ岳~丹沢山・県連ｸﾞﾙｰﾌﾟ(13)	5/31 新茅ノ沢/戸沢右俣下降(2)	6/10-11 西丹沢・大杉山(県連読図講師活動)(1)	6/25 ヤビツ峠~三ノ塔(県連読図講師)
5/30-31 天子ヶ岳~雪見岳~本栖湖(2)	6/4 四町四反の沢(10)	6/17 富士山(1)	6/30-7/24 K2・バルト口氷河
6/9-11 鳥海山(4)		6/24 マスキ嵐沢	
みすなら山の会 報告 松本敏孝 計34名(男20名 女14名)平均55歳			
6/3 三つ峠・岩トレ(2+他)	6/10-11 栃木・横根山~釈迦が岳(3)	6/25 南ア・入笠山(2+他)	7/8-9 会津・窓明山(2)
6/2-4 月山 スキー(4+他)	6/18 南ア・甘利~千頭星(4)	7/1-2 谷川一の倉沢烏帽子岩(3)	7/14-16 和賀山地・和賀~白岩(1)
6/3-4 北ア 錫杖岳(5)	6/24 奥秩・父伊豆が岳~子の権現(1)	7/8 厨子・森戸川(1)	7/14-17 北ア・白馬~朝日(1)
6/4 会津七つ岳(5)		7/8-9 谷川・万太郎~平標(7)	7/15-17 白山(7+他)
6/4 丹沢・主稜縦走(1)			
6/10 三つ峠・岩トレ(6)			
久良岐ハイキングクラブ 報告 三上茂 計9名(男5女4)平均58歳			
6/5 富士写ガ岳(2)	7/1 室内例会(5)	7/29-30 北岳	8/9-11 蝶ヶ岳
6/26 箱根明神岳(2)	7/5-6 至仏山	8/5 室内例会	
横浜山楽会 報告、佐竹範明 計17名(男9 女8)平均63歳			
7/1-2 白毛門(天候悪延期)	7/4 室内例会	7/23 岩殿山	8/17-19 笠ヶ岳・弓折岳
	7/14-17 白峰三山	8/9 例会	8/22-24 餓鬼岳
雪重山の会 報告 後藤 計20名(男 女)平均 歳			
6/4 二子山・中央稜他(4)	6/17-18 甲斐駒ヶ岳(1)	6/23 塔ノ岳(1)	(3)
6/7 乾徳山(2)	6/18 キウハ沢・丹沢山(2)	6/24 赤岳・硫黄岳(2)	
6/10-11 鳳凰三山(4)		6/29 丹沢・マスキ嵐沢	
やま+ 報告 柴田勇作 計11名(男6:女5)平均46歳			
6/4 RCT・モミソ沢(8+2)	6/17 沢・源次郎沢(3)	7/1 勉強会・山行計画、セルフレスキュー	7/22-27 大雪山(旭岳~トムラウシ)
6/8-9 尾瀬(4)	6/24-25 上州武尊山(4+3)	7/8 沢(場所未定)	7/26 例会
6/11 南ア・マイナー(7)	6/25 南ア・大岩山偵察(3)	7/9 RCT(場所未定)	
6/14 勉強会(沢)(10)	6/28 例会(10+2)	7/15-17 雪倉岳~朝日岳	



自然保護委員会記録の続き

8) 報告書の作成について
原稿締め切り: 7月22日(土) 原稿送付先; 三上(s-mikami@mpd.biglobe.ne.jp)
感想文と写真をたくさん送付してください!
特に必要な原稿・写真: 林道ゴミ調査隊、前夜祭(共に写真は川崎労山の矢萩さんが記録していたはず?)
・発行予定日: 8月1日(火)
・印刷予定日: 7月30日(日) 13:00~県民サポートセンターにて
<求む>印刷スタッフ2~3名
・発行部数: 未定
・ページ数: 昨年度並の予定(約16ページ)

2. 前回の議事録訂正
誤正
・自然保護委員長: 高橋 自然保護委員長: 吉岡
・事務局長: 吉岡 事務局長: 未定

・会計: 石田 会計: (石田)
3. その他
・鍋割山荘主催の登山道整備(7月16日(日) 8:30~)には、労山としてまとまって行った方が良いのではないかと。まとめ役: 児玉
・クリーンピア21の総会が7月6日(木)にある。羽生田出席の予定。
・クリーンハイク前夜祭の際に忘れてあったモンベルの青いカッパを高橋(藤沢山の会)が保管している。心あたりの方は高橋がMLへ連絡を。
4. 次回自然保護委員
6月25日をもって、クリーンハイク実行委員会は解散日時: 7月31日(月) 19:30~ 場所: 県連事務所
内容: クリーンハイク報告書確認、名簿及びML作成状況の確認 他

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会 報告：佐々木利江 計49名(男31 女18)平均 歳

6/10-11 縦走、西丹沢・ 檜洞丸(5)	6/23-24 甲斐駒・坊主岩 東北壁取り付き(3)	その他3つの山行 7/5 運営委員会	日和田山 7/26 例会
6/11 読図、(県)リーダ校 下見(1)	6/23-24 沢、丹沢・小川 谷(5)	7/12 登)机上・縦走 7/22 準会山行・岩トレ	7/30 登)沢実技・水根 沢

川崎ハイキングクラブ 報告 樋渡輝彦 計111名(男51 女60) 平均57歳

5/20-21 切込湖・刈込湖 (10)	6/1 臨時運営委員会 6/2-4 南八ヶ岳(7)	6/17-18 入笠山 6/18 モミソ沢	7/22-24 鳥海山・月山 7/22-25 白馬岳
5/21 茅ヶ岳(6)	6/3-4 四阿山(7)	6/18 笠取山	7/27-30 後立山連峰
5/24 例会(50)	6/3-4 瑞垣山(4)	6/21-22 筑波山・男体山	7/28-30 火打山・妙高山
5/27 クリーンハイク水 質検査(9)	6/4 本仁田山(例会山行) (14)	6/25 総会 7/2 三頭山(例会山行)	8/4-5 富士山 8/6 横浜ウォーキング
5/28 クリーンハイク(30)	6/7 運営委員会	7/15 鍋割山	8/20 天覧山・多峰主山
5/30-31 恵那山(5)	6/11 救急法訓練(48)	7/22-23 谷川岳-平票山	8/26-27 九鬼山-高柄山

アルパインクラブ横浜 計42名(男23:女19)平均37.4歳

5/27 勘七ノ沢(水質検査) (3)	6/4 甲府幕岩(5) 6/4 檜洞丸(1)	6/15 箱根明神が岳(4) 6/17 東丹沢(ヤビツ-札 掛-長尾尾根-塔)(1)	6/24 八ヶ岳稲子岳南壁 左方カンテ(5)
5/28 塔ノ岳(クリーンハ イク)(13)	6/4 谷川岳 西黒尾根(1) 6/7-8 小川山(3)	6/17 塔ノ岳(1) 6/18 大山川(途中事故、 完登)(7)	6/24-25 小川山(3) 6/25 丹沢三ノ塔(県連遭 対部読図山行)(3)
5/31 甲府幕岩(2)	6/8 檜洞丸(4) 6/10 天王岩(7)	6/22 八ヶ岳天狗岳(3) 6/23-24 丹沢表尾根(1)	6/27 丹沢大倉尾根(1)
6/1 塔ノ岳(5)	6/10 丹沢ヤビツ峠-三ノ 塔(講習会偵察)(1)	6/24 湯河原幕岩(2)	
6/3-4 八ヶ岳編笠山-蓼 科山(2)	6/13 鳥甲山白岩尾根(2)		
6/3-4 三ツ峠(2)			

横浜ハイキングクラブ 報告 白鳥松男 計55名(男19:女36)平均59歳

5/21 交流ハイク寺家ふ るさと村(5)	5/31 大菩薩峠(13) 6/3 天城万二郎万三郎岳 (17)	6/18-19 金峰山 雨天中 止	7/19 三国山(箱根) 7/20-22 越後駒ヶ岳 7/23-24 尾瀬沼
5/23 畦ヶ丸(西丹沢)雨 天中止	6/4 不老山(10) 6/7 高尾山琵琶滝コース (8)	6/25 茅ヶ岳 7/1 鷹取山・岩トレ	7/27-30 薬師岳(北ア)
5/26 早雲山-駒ヶ岳(9)	6/7 高尾山琵琶滝コース (8)	7/8-9 苗場山 7/13 例会	
5/28 丹沢クリーンハイ ク雨天中止	6/8 例会	7/15-16 茶臼岳(那須)	

横浜こぶしの会 報告 田辺美由紀 計27名(男17人 女10人) 平均50歳

6/4 沢トレ・源次郎(8)	ラブ、1)	山(1)	7/ 会低山(未定)
6/17 本間沢(3)	6/25 会低山鎌倉アルプ ス(5)	6/30 -7/2 (1+4) 7/28-30 慰霊登山(甲斐 駒・黒戸尾根)	
6/24-25 県連読図トレ(3)			
6/25 筑波山(ヤッホーク)	6/30-7/2 岩木山、岩手		

横浜わらび山の会 報告：初山輝夫 計18名(男7 女11)

6/1 檜洞丸(5)	6/18 横須賀菖蒲園(2)	6/24 定例会(14)	7/27 定例会
6/3-5 稲包山尾瀬ヶ原、 高山(12)	6/20 大山(1) 6/22 子楢山(5)	6/25 富士見塚(7) 7/1-2 天城山、城ヶ崎	8/26-27 一切経山、東吾 妻山
6/10 倉掛山(4)	6/22 大野山(3)	7/9 鍋割山	8/26 大蔵高丸
6/13 矢倉岳(6)	6/24 大雪山系(1)	7/16 櫛形山	
6/17 石老山(4)	6/24 秋山二十六夜山(3)	7/22-23 蓼科山	

藤沢山の会 報告 清水 守 計93名(男42:女51) 平均60歳

6/3-4 天狗山(8)	6/17 三窪高原(8)	ほか15山行	7/28-30 針ノ木岳
6/3-4 八海山(9)	6/24-25 北八ヶ岳(8)	7/8 読図山行	8/ 南ア・夏山合宿
6/10 不老山(8)	6/24-25 富士山(8)	7/15 沢登り(モミソ沢)	
6/17 春岳沢(7)	6/25 県連読図山行(9)	7/10-22 中国四姑娘山	

2006年度・夏山山行の注意点

2006.06.30 神奈川県連・遭難対策部

今年も夏山のシーズンがやってまいりました。各会におかれましては長期縦走など精力的なプラン作成が進んでいることと思います。楽しい山行も安全に配慮した綿密なプランがあってこそ達成できます。僭越ながら、遭難対策部より今年度の夏山山行に向けての注意点をいくつか提出させていただきます。既にご存じの基本的なことばかりと思いますが、どうか今一度見直していただき、意識づけをお願いいたします。



2006年6月・立山の積雪の様子

- ご存じのように昨年度の記録的な豪雪の影響で、北アルプス、上越、東北地方の残雪は例年になく多くなっております。沢登りなどに行かれるかたは十分な調査をお願いします。また、縦走登山でも雪渓では濃霧が発生して方向を見失います。コンパスの使いこなしが必要です。
- 炎天下での縦走は発汗によって体内の水分が大量に失われます。休憩時のみならず、ボトルを手の届く箇所に携帯し、行動中もこまめな水分補給をお願いします。水分だけではなく塩分やミネラルの同時摂取も必要です。甘いだけではなく塩分を含んだ行動食、もしくはスポーツドリンクの摂取が有効です。
- 夏山とはいえ3000m級の稜線で寒気が入り込むと気温は10度を下回り、強風下で雨に濡れると低体温症の危険があります。保温用のウェアを持参するなど、十分気を配ってください。
- 夏山気象で最も注意しなければならない現象は、なんとといっても「雷」です。雷

に遭遇したときにそれを避ける決定的な手段は無く、樹林帯に逃げ込んだとしても直近の樹木に落雷したときはダメージを受けます。雷に遭わないようにするプランニングこそが最大の防御と考えます。雷の発生しやすい午後2～3時ごろには既に1日の行動を終了しているように、早立ちを心がけることが肝要です。以上、どうか事故の無いように、みなさまの楽しい夏山の達成を願っております。

参考ウェブサイト

富山県警山岳情報・夏山情報第1号(2006年6月29日)
http://www.pref.toyama.jp/cms_cat_police/108020/kj00001546-001-01.html
 (北アルプスの残雪状況を見ることができます)

「ハイキング懇談会」2ヶ月に1回やってます。

2005年の2月より、ハイキングクラブ同士のコミュニケーションの必要性を感じて、ハイキング懇談会を実施しています。2ヶ月に一度、県連事務所に集まって、ハイキングクラブの山行の多様性、安全山行、事故事例やヒヤリハットの検証、教育活動や運営活動の悩みなどを話してまいります。是非多くの会や会員の方の参加を期待しています。各会の知恵と力をあわせて喜びあふれるハイキングライフを楽しみましょう。

次回懇談会のお知らせ

日時・場所 8月30日(水)18:30～ 県連事務所
 テーマ
 なんとって教育活動が大事だけど、会での教育はどうやっているの?
 お話 基本の基「装備について」 - 装備も日進月歩。安全登山と装備を語ろう -
 大賀 由普さん(東京 むさしの山荘店主)

遭対部の夏山山行把握にご協力ください

2006.06.30 神奈川県連・遭難対策部

遭対部では万一の事故発生時に救助隊と連携して迅速な救助体勢を整える必要があります。そのため、各会における夏山の大型山行の計画を把握しておく必要があります。強制

ではありませんが、どうか主旨をご理解の上、下記のいずれかの方法で各会の夏山山行の情報提供お願い申し上げます

- (1) 県連ホームページからの入力 (<http://k-rouzan.net/>)
- (2) 県連事務所へファックス (045-434-2726)
- (3) 郵送 (〒211-0882 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2永田ビル3F)

提出していただきたい項目：

- (1) 山岳会名、(2) 山行期間、(3) 山域、
- (4) 山名・コース・ルート、(5) リーダー名、(6) メンバー名
- (7) 無線機所有の有無 (8) 無線機の種類 (144MHz / 430MHz)

対象とする山行：日程が8月12日(土)～8月20日(日)にかかもの

提出切：7月31日(月)

遭対部講習会の参加費

値上げにご理解ください

2006.06.30 神奈川県連・遭難対策部

遭対部主宰による講習会の参加費値上げについて

2005年度の中途より遭対部が主宰する講習会の参加費が下記のようにになりました。

- ・労山会員：1000円 (改訂後) 2000円
- ・会員以外：2000円 (改訂後) 3000円
- (講習内容によっては若干変動します)

参加費値上げの理由について

県連遭対部主宰による講習会の主旨は営利目的ではなく、あくまで会員をふくむ登山者全体の安全登山推進のためです。講習費の主な用途は資料代や講師・スタッフの交通費などに充てられます。しかし従来の講習費設定では予算ギリギリの状況で(連盟全体の財政ひっ迫の影響もあり)いつも年度末には会計運用に四苦八苦しておりました。

民間の講習費に比較すれば十分安いですし、もちろん運営に参加するスタッフは全てボランティアで働いております。講習内容につい

てはよりいっそうの充実を図るよう、努力いたします。以上のような現状をご理解いただき、どうか会員みなさんのご協力をお願いいたします。



- ・Fコース 表丹沢県民の森：藤沢山の会；人員36名・一般2名
 - ・Gコース 表尾根二ノ塔：川崎柴笛クラブ；人員7名・一般0名
 - ・Hコース 表尾根三ノ塔：緑と星スキーと山の会；人員7名・一般0名
 - 他、救助隊と本部の正式な人数を把握する必要があります。
- 2) 一般参加者への対応について意見交換
- ・保険は32人分かけた。
 - ・一般参加者の受け入れにあたっての保険対応などが大変なので、労力に対し、それに見合った意義があるのか疑問である。
 - ・一般参加者対応は大変であるが、広く一般が参加してくれる意義はあると思う。
- 3) ゴミの数量について
- 吉岡記録の重量と、三上記録の重量が違っている。戸川林道のゴミ重量のカウントの差が原因と考えられるが、再度確認が必要。
- 4) 水質の結果について
- 速報は提出済み。詳細は田辺が小林より既に預かっている。
- 5) 当日の中止判断等について
- (1) 意見交換概要
- 山行に向かう各会で最終判断をしてもらう・救助隊との連携強化をする
- ・天気予報による中止及び決行の判断は大変難しい。
 - ・来年度は、山行に向かう最終判断は、本部でなく参加予定の各会でしてもらうことを周知させる体制にしたい。
 - ・今年度は救助隊との役割分担の確認、連絡システムの準備が不充分だったので、来年度はその点改善する。
- (2) 意見交換詳細
- 【天候判断に関して】
- ・降水確率50%は中止との予定であったのに、何故決行の判断だったのか、という意見が参加者の中からあがっている。
 - ・当日は、天気予報によっては晴れ間が出るとの予報があったので、本部では決行の判断をした。
 - ・会の判断により来なかった会や、個人で止めた方もあった。
 - ・準備が活かせないのはもったいないので、雨天でも基本的に決行にしたい。
 - ・雨天の場合は基本的に林道清掃で、それ以上の判断は各会に任せる、というニュアンスが全体にゆきわたらなかった。
 - ・晴天で実施した昨年度と比較しても、今回ヒヤリハットはなかった。
 - ・二ノ塔担当だった会は会でリスクを考え、コースの変更を申し出た。
 - ・中止判断をした会を把握できるように、連絡してもらった方が良いのではないか。
- 【救助隊との連携について】
- ・救助隊から、前日の夕方、三上へ実施の問合せの電話があった。
 - ・実施に関して本部の判断をする際に、救助隊との相談も必要かもしれない。
 - ・最終ミーティングの日程場所内容等が救助隊に伝わっていなかった。

- 救助隊との連絡系統を整える必要がある。
- 6) 今後の取り組みについて
- (1) 意見交換概要
- 登山道のゴミはマナーの浸透により減ってきたので、今後は新しい取り組みを検討したい。
- ・今後は登山道整備に重点をおいたら良いのでは、という意見がある。
 - ・トイレ問題が今後の山の環境の課題だと思うので、何か啓発活動をしたい。
- (2) 意見交換詳細
- 【登山道整備について】
- ・登山道が雨で侵食されていることが気になるので、その対策をしてみたい。
 - ・大倉尾根は「みるく山の会」が水きりをしっかり整備してくれている。
 - ・鍋割山荘が主催で、登山道整備を行っている。
 - ・侵食の進んでいない、草の根があって歩きやすい部分を、登山者が歩いてしまいがちなので、その道ふさを全コースで行っても良いのではないか。
 - ・登山道整備について力を入れて活動を進めるなら、自然環境保全センターとの連絡連携が必要になってくる。
- 【ゴミ清掃について】
- ・ゴミの半分くらいはタイヤなど、林道のゴミであった。
 - ・ゴミ清掃から別な活動へシフトするのであれば、何かの判断基準が必要。
 - 例えば、ゴミの少ないコースでは別活動を行うなどのように考えたい。
 - ・秦野市から、林道のゴミ収集は年に2回行っているとされた。
 - ・家庭ゴミを不法投棄する人達へのマナーの啓発はできないだろうか。
 - 例えば、新聞に訴えなどを載せてはどうだろうか。
- 【トイレについて】
- ・トイレ問題がこれからの自然保護の要であると思うので、何かできないだろうか。
- 7) 活動記録について
- (1) 意見交換概要
- ヒルの大量発生についての記録は、自然環境の記録として意味が大きい。
- しかし、参加を考える人にとっての嫌悪感につながらないように注意したい。
- (2) 意見交換詳細
- 【ヒルについて】
- ・感想文で、ヒルのことが多く出ていると参加をためらう人が多いのではないか。
 - ・ヒル対策をしっかりすれば、被害はかなり防げる。
 - ・自然保護憲章にも「登山活動を通して...自然の変化をとらえ...」とあるので、気づいた自然環境の記録は大切にしたい。
- 【ヒルに関する備考】
- ・シカや人について、ヒルが広がる。
 - ・ヒルは同じ人から血を吸うと、抗体ができてヒル自身が死んでしまう。
 - ヒルの数と動物や登山者の数が保たれていた時はヒルの数も一定していた。
 - シカや登山者が増えて、ヒルが広がったという説がある。

常任理事会報告

7月3日

出席 後藤、渡辺、磯部、押本、小竹、田村、村松

事故報告

リーダー学校 源次郎沢F4で滑落 くるぶし剥離骨折

遭対部報告

連盟ニュースに読図講習会の報告、夏山の注意点などの記事
講習会「登山の基礎」について。県連講習会スタンプカードの提案

救助隊報告

救助隊総会報告。救助隊メンバー構成のあり方について。

埼玉のチームレスキュー参加予定。
クリーンハイクの救助体制について、常任理事の意見交換。

自然保護

クリーンハイクについて。今回の集中体制や、分散し会にまかせる。

事務局

6月事務局長会議の報告。連盟ニュースについて。
7月事務局長会議について 夏山山行把握の要請。ハイキング懇談会の案内。

組織

各会紹介を連盟ニュースに掲載。各会総会の報告の掲載。

事務局長会議報告

6月13日

出席会

川崎労山、川崎HC、AC横浜、横浜HC、横浜こぶし、横浜わらび、藤沢山の会、小田原ナーゲル、相模労山、みずなら、久良岐HC、横浜山楽会、カモの会、雪童山の会、地平線の会、やま++ 以上16会

県連からの報告

クリーンハイクの速報。遭対部読図講習会の案内。スポーツ連盟総会、40周年レセプション報告。

活動報告

横浜HC：カゴメのインターネットのC

Mにエキストラで参加

ヒヤリハットの報告

濃霧で登山口ではぐれるが登山途中で再会する。

意見交換

- ・岩技術向上のため外部講師を依頼したい。ガイドに依頼している会あり。他の会の岩トレに合流したり、県連の救助隊トレに参加することで技術が高まるのでは？。
- ・県連活動に参加など会を代表しての活動に対する交通費は？ 事務局長会議は交通費支給の会が多い。

自然保護委員会記録

記：羽生田

日時：2006年6月25日 19:30～21:00

場所：県連事務所

出席：磯部・吉岡(地平線の会)、大日方・羽生田・清水(AC横浜)、大用・当山(川崎HC)、金森(みずなら山の会)、北野(緑と星スキーと山の会)、高橋・萩原(藤沢山の会)、田辺(横浜こぶしの会)、三上(久良岐HC)

1. クリーンハイクに関連する内容

1) 参加人数確認

6月25日配布物「実施要綱一覧(5/28)」の訂正点。以下が正確な人数。

- ・Aコース 戸川林道：川崎労山；人員2名
- ・Bコース 大倉高原：一般；一般0名
- ・Cコース 大倉尾根堀山：一般；一般0名
- ・Dコース 大倉尾根花立：一般；一般1名
- ・Eコース 大倉尾根塔ノ岳：雪童山の会；人員5名・一般1名

遭対部『道迷いを防ぐ講習会』報告

2006.06.30 神奈川県連・遭難対策部

6月24日(土)～25日(日)にかけて、「道迷いを防ぐ講習会」が開催され、盛況のうちに無事終えることができました。参加していただいた会員および一般の方々、ご協力いただいたスタッフのみなさん、どうもありがとうございました。

机上
横浜市神奈川地区センター
参加者：40名(会員38名、一般2名)

実技
丹沢、ヤビツ峠～菩提峠～二ノ塔
～三ノ塔～二ノ塔～菩提峠～ヤビツ峠
参加者：21名

- 総括
- ・午前中2時間、午後4時間の充実した机上講習でした。
 - ・ただし初めての試みで、机上の内容は充実していましたが、進行・運営面などでいくつかの課題を残しました。次回の講習ではより洗練された内容でお届けしたいと思っております。
 - ・実技登山は楽しめてもらったものの、思ったより参加者が少なかったのが残念です。机上+実技セットで受講してこそ修得度が向上します、遭対部側からもアピールするべきでした。
 - ・予想外の参加者の多さに、嬉しい反面、参加者からは『自分の山岳会で行われていないので参加しました』という意見が聞かれました。本来ならこのような講習は各会で行われているべきものだと思います。これをきっかけとして、各会にて勉強会が活発になることを期待しています！



40名もの参加者が集まり盛況でした



地形図の読み方を基礎からマスター



実技登山、二ノ塔・南尾根を下ります

川崎ハイキングクラブの活動報告 「赤十字救急法一日講習会」

6月11日(日)、遭難救助訓練の一環として、日赤神奈川県支部救急法指導員(神奈川県山岳赤十字奉仕団員)3名の講師を迎え、雨天のため白山地区センターに場所を移し、当会員48名(男性24名・女性24名)の仲間が標記講習会を受講しました。

「山でのアクシデントに遭った時の対処法」をテーマに、午前中は自分を守る・自分を助ける・医者ではない・薬を与えない・死亡の判断はできない・傷病者の不安を与えない・傷病者を観察して安定させる・記録をとる・アルコール食べ物を与えてはいけない・生命に関わることは直ちに手当てしなくてはならないなどの机上学習を行いました。

午後からは、傷病者の観察(話し掛ける・意識があるか・触ってみる・叩いてみる)し、呼吸も脈もない4分経過すると蘇生率50%以下を承知で、呼吸・心臓マッサージ・気道・圧迫部位の確保などの手当及び冬期夏期に起きる傷病や動物が原因する傷病の手当てと事前対処及び怪我人に対する応急処置と搬出方法などなど実技を交えた学習を行いました。

参加者全員、他人事ではなく自分自身的事として真摯に学習に取り組んでおりました。遭難事故が及ぼす影響を考えると「遭難事故を起こさない・起こさせない」そのために会は又自分は何をなすべきか?しみじみ感じる一日でした。

講師の話に真剣に耳を傾ける

結び目を連続させる結び方に取り組む

骨折部を副木の応用で固定してみる



40名もの参加者が集まり盛況でした



40名もの参加者が集まり盛況でした



40名もの参加者が集まり盛況でした

第27期全国女性担当者会議の報告

一日目。各県連、ブロックでの活動の報告。大阪府連盟女性委員会で研究された「女性会員のための搬出法」が県連や集会などの講習会で活用されて、女性によるセルフレスキュー活動を啓発している活動が報告された。全国遭難対策部長のアドバイスを受けながら、実技を加えながら、女性会員もしなければならない搬出法の普及について討議された。

二日目。第7回女性と登山全国集会を20年ぶりに開催するにあたって、内容について討議された。

日時 2007年6月23日～24日 場所 埼玉 規模 300名以上

内容 事故体験と搬出の実態(当事者と現地救助隊)
女性の身体的特長と有効な体力トレーニング
分科会

講習会予告「登山の基礎」のご案内

2006.06.25 神奈川県連・遭難対策部

平成15年、警視庁の統計による山岳遭難の発生原因は、「道迷い」が38%でトップとなっていますが、「転倒、転落、滑落」の3つを合わせたものは37%となって第2位となり、ほぼ同等の数値を示しています。(転倒、滑落は転倒後に発生するので、元はといえば「転倒」がその原因となっていると考えられます)

この現状を分析し、遭難対策部では登山者・ハイカー遭難の遠因となっている部分に焦点を当て、それを改善するための講習会を企画しました。

最重要テーマは「歩行時、岩場でのバランス」を改善する方法です。その他「登山の運動生理」「山の気象の基礎」などのほか、「ツェルトの立て方」「携帯電話の使い方」など、実践に即した話題を取り扱い、いわば「ハイキング学校のコンパクト版」とも言うべき内容になっています。基礎だからと言わず、ベテラン(特にリーダー層の方々)にも参加していただきたい内容になっています。



机上講座：9月23日(土)、実技登山：9月24日(日)

講習会の主な内容

- (1)登山やハイキングの事故・遭難の原因と対策を考え、安全に楽しめるようにしましょう。
- (2)登山やハイキングで体調を維持する「運動生理学」「健康管理」の基礎を学びましょう。
- (3)歩行時の「姿勢・バランス」の重要性を再認識し、改善する方法を考えましょう。
- (4)万一の時のための「リスク管理」について考えましょう。(ツェルトの使い方、など)
- (5)「連れて行ってもらう」から「パーティ全員がリーダーとなれる」ことを目指しましょう。
- (6)山で役に立つ「気象の基礎」を学びましょう。
- (7)携帯電話の実践的な活用方法を学びましょう。

実技登山の主な内容

- (0)準備運動、(1)当日の気象傾向の予測、(2)地図を見てルートの地形の特徴を理解、
- (3)コンパスの使い方、(4)パーティを編成してオーダーの確認、
- (5)行動食の内容チェックと、水分摂取の方法。(6)ストックの使い方
- (7)急な登下降、あるいは岩場での姿勢およびバランスの確認、
- (8)谷と尾根で携帯電話のアンテナ本数の違いを確認する。(9)ツェルトの設営
- (10)補助ロープ、シュリング+カラビナの使い方、(11)下山後の整理運動

地味な講習会のように見えますが、とても重要な内容を扱っていると考えます。ぜひ多くのおみなさんのご参加をお待ちしております。